



12星座しかなぜないの

星座の数は全部で88

晴れた日の夜、高い山に登って空を見上げると、たくさんの星が見えますね。今から約5000年の昔、メソポタミア（現在のイラク、シリア）地方で、カルデア人の羊飼いたちが、夜空を見上げては星と星を結んで、動物や人のすがたを想像していました。これが星座のはじまりです。

このことが後にギリシャに伝わって、ギリシャ神話と結びつき、現在のような星座ができあがったのです。星座の数は88。そのうち、日本から全体または一部を見られるのは84で、残りのカメレオン、テーブルさん、はちぶんぎ、ふうちょうの4星座は、もっと南へ行かなければ見られません。

12星座と星うらない

昼間、太陽の光のため星は見えませんが、太陽が見える方向にも、星や星座があるので、太陽は1年かけてこの星座の中をちょうど一回りするのです。この太陽の見かけの通り道を「黄道」といい、この黄道上にある12の星座を「黄道12星座」といいます。

この12星座は昔から大切なものと考えられ、人が生まれた月の太陽と星座の位置から星うらないが行われるようになったのです。

このように、12星座とは太陽のみかけの通り道にあり、その順番でも決まっているのです。

（監修 国司 真）

